

第174回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年12月8日(木) 16:30~17:30

2 開催場所 エフエム栃木 本社3階 第2スタジオ

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
森内 律子
島田 恭子

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

12月4日に放送した「朝茶bar 心の茶ン寝ル」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、毎週日曜日の午前8時から30分間の録音番組として
放送しているもので、休日の朝を爽やかに迎えるため、
二期リゾート広報文化統括ディレクターである、安田ひと絵さんをアドバイザーに、
「お茶」をテーマにした様々なお話をしていく番組です。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：休日の朝に聴くと、心地のよい選曲がなされており、
BGMや曲など、音楽からの癒しが感じられ、好感のもてる番組である。

委員：番組全体から伝わってくる、ゆったり感は、スポンサーの洗練されたリゾート施設の
イメージにぴったりだと感じた。

委員：お茶の話は、なんとなくイメージは出来たが、最終的にその内容をきちんと理解すること
は、できなかった。

委員：安田さんの詩の朗読は、聴いていて、強めのアクセントが気になった。
もっと、ゆっくりと、やさしく話してほしい。

委員：安田さんご自身で作った詩を、自分の言葉で伝えたいという気持ちはわかるが、
この番組にはアナウンサーも出演しているのだから、朗読はプロに任せた方が、
安田さんの詩を、より印象に残る形で伝えられるのではないかと？

委員：提供者が自ら出演したり、番組の構成までタッチしたいという要望は多いのか。

事業者：この番組に関しては、提供社が番組でやりたいことを強く打ち出しており、
このようなスタイルで放送をしている。

委員：番組名に入っている「寝ル」という言葉が、朝の番組のイメージとは異質なものと感じた。

委員：番組全編にわたって、提供社のコマーシャルを聴いているような感じがした。
情報をストレートに流し過ぎることは、番組の品格や価値を落としてしまう危険性もある。
情報の伝え方を、より工夫することで、しいては、提供社のさらなるイメージアップに、
つなげることが出来るのではないかと。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を1月5日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

- 6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし
- 7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 12月25日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内
- 8 その他の参考事項
なし